

Xming を使う

<http://d.hatena.ne.jp/metalglue/20080319/1241544847>

フォントが小さいときは

[Additional parameters for Xming] にて [-dpi 100] を設定する

scim で日本語入力

を参照

VcXsrv Windows X Server を使う

<http://sourceforge.net/projects/vcxsrv/>

Xming と使い方はほとんど同じ。

Xming より完成度は良いような気がする。

ディスプレイ番号を localhost:0.0 以外にするときは

```
disable access control
```

をチェックする。

起動時に SSH してアプリを起動する

1. Start a Program を選択
2. Start program on remote computer
 1. Remote program
 2. Password
 3. Connect to Computer
 1. ポートを指定する場合は 192.168.0.1 -P 8022 のように -P オプションを付ける
 4. Login as user
 5. Private Key

GPU を使う

```
Native opengl
```

を有効にして以下の環境変数を設定する

```
LIBGL_ALWAYS_INDIRECT=1
```

Illegal instruction が発生する

一部の環境で特定のアプリを実行した際に Illegal instruction が発生することがある。

対策 1

GPU を明示的に利用するように以下の環境変数を指定する

```
LIBGL_ALWAYS_INDIRECT=1
```

対策 2

GPU を無効にするために以下の環境変数を設定する

LIBGL_ALWAYS_SOFTWARE=1

MobaXterm を使う

<http://mobaxterm.mobatek.net/>

term と X サーバとかファイルマネージャが一緒になったもの。
ポータブル版がオススメ。

Cygwin を使う

setup.exe で X 関係をインストールする。
日本語化とか日本語入力とか、まだまだ面倒なのであまりオススメしない。

Portable Ubuntu を使う

Xming & ローカルに Ubuntu を起動する。
何かと使いやすいので便利。重いので注意。